

6月5日JAとうとは、瑞浪市立日吉小学校3年生15名に「大豆」についての出前授業を実施した。同JAは、地域の未来を担う子どもたちに対し、食についての知識・理解を深めてもらうための食農教育の一環で出前授業を実施している。JAとうと経済部農業課の伊納係長、伊藤萌望より、地域の方言である「まめなかな（元気かな）」と掛け合わせながら授業を行った。大豆の豆知識クイズや大豆がどれだけ日本で作られているのか等を学び、講義の後、実際に子供たちがポットに大豆を播種して授業は終了した。子供たちは、「大豆は、エダマメが熟したものだとは知らなかった」「大豆は色々な料理に使われていることを知れた」と感想を述べた。大豆が成長した11月頃には、豆腐作り体験を予定している。



6月7日JAとうとは、瑞浪市立釜戸小学校3年生15名に「大豆」についての出前授業を実施した。同JAは、地域の未来を担う子どもたちに対し、食についての知識・理解を深めてもらうための食農教育の一環で出前授業を実施している。JAとうと経済部農業課の伊納由美係長、伊藤萌望より、地域の方言である「まめなかな（元気かな）」と掛け合わせながら大豆の育て方・日本の大豆自給率などの授業を行った。大豆の豆知識クイズや大豆がどんな料理に変身するのか等を学び、講義の後、子供たちがポットに大豆を播種して授業は終了した。子供たちは、「今日種をまいた大豆を一生懸命育てて、自分たちで収穫したい」「今年だけでなく、来年もお家で大豆を育ててみたいと思った」と感想を述べた。大豆が成長した11月頃には、豆腐作り体験を予定している。

